

津南町地域公共交通協議会

平成20年6月17日設置

平成21年3月12日連携計画策定



津南町

概要

町の将来像である「悠久の河岸段丘に夢ひらく 明るい豊かな健康の町、充実した生活環境のまちづくりに向けて公共交通体系の構築を図る。

- ①既存路線バスについては、利用需要に見合った運行本数の最適化、運行ダイヤの見直しを行い、効率的かつ効果的な運行へ改善する。
- ②目的バス(スクールバス・福祉バス)については、運行形態の見直しを行い、交通資源を有効活用する。
- ③利用需要が少ない地域やバス対応が困難な地域への対応として、「乗合タクシー」を新たに導入する。

○乗合タクシーの実証運行

津南～源内山沿線地区において、乗合タクシーを新たに導入する。大場集落～源内山集落までの地域住民はスクールバスと接続し、源内山集落で乗換えとなり、町中心部の学校や病院に行くことができるようになる。

源内山集落でスクールバスと接続した乗合タクシーは、その後、主に保育園児のタクシー通園利用者をターゲットにして源内山集落から辰ノ口集落、鹿渡集落、北部保育園、こばと保育園を経由し町中心部に向かう。

○スクールバス混乗化の実証運行

現在、津南～源内山沿線地域に運行しているスクールバスに、地域住民が乗ることができるようにスクールバス混乗化実証運行を行う。上記の乗合タクシーに源内山集落で接続する。

○路線バスの通学・通院にも対応できるダイヤへ見直し変更

津南～百ノ木線路線バスを津南中等教育学校の通学に対応するダイヤへ見直し変更している。

昨年度まで津南15:30発、17:30発の便をそれぞれ16:20発、18:00発に変更し、部活動のあるなしに拘わらず待ち時間がほとんどなくスムーズに帰宅できるようになった。

